

### 「書字に困難さを抱える子どもの協調運動機能の定量的評価」 研究経過報告



宮寺 亮輔氏

#### 研究の進捗状況と今後の予定

##### 宮寺 亮輔

(群馬医療福祉大学, 作業療法士)

第16回作業療法ジャーナル研究助成をいただき、研究を進めております。

研究のテーマは、「書字に困難さを抱える子どもの協調運動機能の定量的評価」です。スマートペンの筆跡に着目し、視線と書字姿勢の同時解析から、書字に困難さを抱える子どもの協調運動機能の特徴を明らかにすることを目的としています。

現在は、基礎研究として健常成人に対して複数回測定を行い、スマートペン、視線計測装置等の評価機器の測定精度を確認しております。それと同時に海外から購入しました子どもの協調運動機能検査の Movement Assessment Battery for Children-2nd Edition (movement ABC-2) について、測定手順を確認しています。

また、今年度より、共同研究者の宮寺寛子准教授(群馬パース大学)の支援先である、埼玉県  
の放課後デイサービスの方々に協力をしてい

ただけることになりました。その施設のスタッフの方々から利用児およびそのご家族の方々への広報をしていただいた結果、数名の方々から研究協力のお声かけをいただきました。

今後、研究協力の意思を示していただいた方々への具体的な研究説明を行っていきたいと思います。また、単純図形や文字の書字を行う実験にて、筆跡、筆圧、視線等の指標から書字技能の状況を可視化する等、研究協力者の方々には日々の学習活動に活かせる情報をお伝えしていきたいと思います。分析は機器から得られた数量的分析だけでなく、記録した動作から運動学的分析も行う予定で、機器的操作や発達運動機能評価等の技術的な部分をご支援いただいています。神作一実教授(文京学院大学)と、共同研究者である山口智晴教授(群馬医療福祉大学)、古田常人教授(東京医療学院大学)のご助言を得ながら実施していきます。